令和４年度第１回　瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会

通常事業事前審査　議事録

日　　時：令和４年４月２０日（水）　午後６時３０分から午後８時５０分

場　　所：瑞浪市役所西分庁舎　１階会議室

出 席 委 員：山内　正雄（委員長）、澤井　芳美（副委員長）、平中　学、柴田　洋子、
辻本　紀み子、大宮　康一
※委員６名中６名の出席であり、委員の過半数の出席となり、瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会規則第６条第２項の規定により、本会議は成立。

事　務　局：瑞　浪　市　長　水　野　光　二
まちづくり推進部長　小木曽　昌　弘

事務局職員：市 民 協 働 課 長　加　藤　博　史
まちづくり支援係長　鈴　木　友　恵（欠席）
まちづくり支援係　中　筬　高　弘

次　　第：１．市長あいさつ
２．委員長あいさつ
３．議題
（１）審査会の役割について
（２）本日の審査会について
（３）審査会の進め方、申請状況について
４．審査（質疑応答・市長講評）
５．事務連絡
６．閉会

【１　市長あいさつ】

皆さんこんばんは。一日のお仕事が終わりお疲れのところ、お集まりいただきありがとうございます。

本日は、各地区のまちづくりの方に今年度実施する事業を発表していただき、審査していただきます。

昨年度は、各地区でしっかりと事業計画を立てられ、慎重に事業を進めていただきましたが、長引くコロナ禍により、ほとんどの事業が中止、延期または縮小となったことで、思うようなまちづくり活動ができませんでした。大変残念なことで、せっかく、長年、まちづくり活動として夢づくり地域交付金を活用いただいて、地域の課題解消や地域の活性化をしていただき、地域の絆づくりに繋げていただいてきましたが、今回のコロナ禍により、その辺りが停滞してしまっていると考えています。

そのような中ではありますが、各地区のまちづくりの方が、新型コロナウイルス感染症の対策をとった上での今年度の事業計画をプレゼンされますので、しっかりと聴いていただき、ご意見、ご質問、アドバイスをお願いしたいと思います。

今回の審査会が有意義なものとなるよう期待していますのでよろしくお願いします。

【２　委員長あいさつ】

市長さんが、コロナ禍により、なかなか思うようにまちづくり活動ができないとおっしゃってみえましたが、私も実感しております。

私は毎日、コロナウイルスの感染者数をインターネット等で確認していますが、第５波と違い、第６波はなかなか感染者数が減ってこないなと感じています。やはり、ウィズコロナを見据え、本格的にそういった観点から、計画した事業を行っていく必要があるのではないかと感じています。今日は、各地区の取り組みや計画をお聴きして、どのようなアドバイス等ができるか分かりませんが、委員の皆さんには、慎重審議、適切なアドバイス等を積極的にしていただけますようお願いします。

【３　審査会の進め方、申請状況等について】

≪審査会の進め方について事務局より説明≫

～質疑なし～

※夢づくり地域交付金制度見直しにかかる事前アンケートについて

今年は、「夢づくり地域交付金」の３年に一度の見直しの年になっています。

それに先立ち、昨年度、各地区まちづくり推進協議会の会長と「夢づくり地域交付金」の今後の在り方や課題について意見交換を行い、アンケートを実施しました。

今年度も各地区まちづくり推進協議会の会長と意見交換を行いながら「夢づくり地域交付金」の見直しを進めていく中で、みなさんからのご意見をいただきたいのでお願いします。

【４　審査】

≪①各地区からの事業説明≫

～省略～

≪②質疑・意見交換≫

陶町明日に向って街づくり推進協議会（以下「陶」）

〇委員　文化振興事業

陶町マップはいつ完成予定ですか。

●陶

今年度中に完成し、３，０００部作製する予定です。

〇委員

マップ作りは、マップを使う方の意見を聴いて作成し、毎年、マップの内容を更新したほうがより良いものになると思います。また、小学生にも配布するとのことですが、マップ作成に小学生や地元の子どもたちとの連携は想定していますか。

●陶

ご意見をいただきましたので、マップ作成のスケジュールを調整する中で、考えていきたいと思います。

〇委員

山中の道(特に旧猿爪水源地に向かう陶南側尾根沿いの道)は迷いやすいので、マップ作成と同時に、案内板を整備できませんか。

●陶

マップを使って散策している方が道に迷わないよう、今年度、案内板の整備ができないか考えながら、進めていきたいと思っています。

＜市長コメント＞

陶町マップを作製するにあたり、陶町には魅力ある場所が多いので、市外の方にも安心して散策できる観光マップのようなものができればと思います。また、マップ作成の際、現地確認をすると思いますので、危険と思われるような箇所がありましたら、ステップアップ事業を活用して、道の整備もしてもらえればと思います。

来年度以降にも繋がる事業だと思います。

明世地区まちづくり推進協議会（以下「明世」）

〇委員　あきよウオッチング事業

自治会未加入世帯が多いとのことで、自治会参加者の裾野を広げるための事業でもあると思います。

自治会未加入世帯の方にどの様に参加募集を行っていますか。

●明世

自治会未加入世帯が多い傾向にあるアパートの郵便受けにイベントチラシを入れると、迷惑がられることがあるので行っていません。イベントのチラシを地域のお店に置いてもらったり、小学校に出向いて児童に直接案内しています。また、まちづくりの活動を掲載している「まちづくりだより」を小学校の全児童に配布しています。

〇委員

参加募集を行ったことにより、自治会未加入世帯の方が事業に参加されましたか。

●明世

小学校の生徒がいる世帯の方はどんど焼きやウォーキングなどに参加する方はいますが、小学生がいない世帯の方の参加には至ってはいません。

〇委員

自治会未加入だと、まちづくり事業に参加しづらいと考える方もいるかもしれません。自治会に加入している方の心情もありますが、自治会未加入の方でも参加しやすい環境にすると参加者が増えるかもしれなと思います。

●明世

ありがとうございました。

＜市長コメント＞

今回の通常事業にはありませんが、昨年度と今年度でステップアップ事業を活用し実施する「あきよホタル育成事業」は自治会未加入世帯の方にも家族で楽しんでいただける事業だと思います。「あきよホタル育成事業」は明世町民が一丸となって取り組める、地域の活性化に繋がる事業になると思いますので、来年度にでもホタルの育成基地を活用したイベントを実施していただけるといいのではと思います。

日吉町まちづくり推進協議会（以下「日吉」）

〇委員　特産品開発事業

食品を乾燥する機器を購入し干しシイタケなどの乾燥食品を作るこの事業に、どのくらいの町民の方が参加していますか。

また、この事業の収入を町民の方にどの様に使っていますか。

●日吉

食品を乾燥させたい町民が使用していて、リピーターは増えているが、なかなか利用者数が伸びていません。

また、町民以外の方にも利用できるようにしています。

収入は、この事業の経費に使っています。

〇委員　青少年育成支援事業

「子どもサミット」で実施するハザードマップのテーマとして、「防災」や「通学路にある危険地域の確認」などがあると思うが、どのようなテーマで行いますか。

●日吉

コミュニティスクールの事業として実施するため、今後、小学校との意見交換の中でテーマを決めていきます。

〇委員　まちづくり情報発信事業

「案内看板修繕」に６６万円もの高額な経費が計上されているが、どのような看板を修繕するのですか。また、その看板は必要ですか。

●日吉

修繕する看板は、表面に日吉町の観光地が分かる地図、裏面に３社の宣伝を掲載して掲載料をいただいています。修繕には足場を組まなければならないため、高額な修繕料になってしまいます。

また、この看板は好評をいただいていて必要と考えています。

〇委員

交付金事業で設置した看板に特定の企業の掲載料を得るのは問題があるのではないでしょうか。

●日吉

看板修繕はまちづくり情報発信事業の一つとして実施していますが、看板関係の支出については交付金を充てず自主財源で実施しています。

＜市長コメント＞

日吉町のまちづくり活動は、長期的な計画を立てた上で、自主事業からの収益と区長会からの予算を合わせて事業を実施することにより、大きな成果に繋げていると思います。

インスタグラムを活用して情報発信を行うとのことなので、多くの方が日吉町に来てもらえると期待しています。

また、日吉町には立派な空き家が多くあるので、まちづくり活動として、移住定住に繋がるよう、空き家の持ち主の方に空き家バンクに登録してもらえるよう交渉していただけるとありがたいと思います。

大淑町コミュニティ推進協議会（以下「大淑」）

〇委員　大淑町子育て支援事業

若手住民(てくて)とディスカッションを行いながら事業を実施しているとのことですが、若い方の参加者は増えていますか。

●大淑

劇的に若い方の参加者が増えたわけではないですが、イベントごとに参加者が増えていると感じています。

また、若手住民で月１回会議を開いています。

〇委員

イベントの企画は町外の方も提案することができますか。

●大淑

基本的には大淑町民の子どもたちが参加できるイベントなら、町外の方も発案できるようにしていきたいと考えています。

〇委員長

大淑町のまちづくり事業は、地域の課題解消に絞って事業を実施するなど、私の中では完成形であり理想であると考えています。これからもこのような方針で実施していただきたいと思います。

＜市長コメント＞

委員長のおっしゃるとおりだと思います。大淑町のまちづくり事業は、地域の課題解消に絞り込んで企画しており、素晴らしく、他の地域も参考にしてもらいたいと思っています。大淑町にまかせておけば、今年も素晴らしい一年にしてもらえると期待しています。

釜戸町まちづくり推進協議会（以下「釜戸」）

〇委員　地域環境美化事業

コミュニティスクールの事業として小学校１・２年生が授業として参加するとのことですが、他の地域の参考になると思うので、どの様に小学校と話を進めたのか教えていただきたい。

●釜戸

昨年度、釜戸小学校が設置した学校運営協議会で話を進めました。

小学校１・２年生は花の苗活動、３・４年生はグランドゴルフ、５・６年生はスナッグゴルフを実施することになりました。

〇委員　青少年健全育成事業

和太鼓集団「青龍」の演奏を聴く機会はありますか。

●釜戸

地域の夏祭りや昨年度は文化祭で演奏しています。公民館活動で実施している「太鼓を叩こう教室」で幼児園児から小学生の児童までが習っているので、その発表会でも演奏しています。また、今年は６月末にワークショップでも演奏します。

＜市長コメント＞

今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係もあると思うが、事業を３つに絞り込んでいますが、釜戸町では、それ以外にも多くの事業を行っており、道の駅についても、自治会とまちづくり推進組織で取り組んでいただき、ありがたく思っています。

釜戸町のまちづくりは、釜戸コミュニティセンターの中央にあるデッキを上手に活用し、釜戸コミュニティセンターを地域活動の拠点として活用していることが大きな特徴だと思っています。

明日の稲津を築くまちづくり推進協議会（以下「稲津」）

〇委員

稲津町は多くの事業を行っているので、事業を実施する人材も多いと思います。

実施計画に事業を行うボランティアの方が少ないと記載がありますが、各事業の実施にあたる方々の応援があると思います。事業を行う人的な体制はどのようにしていますか。

●稲津

事業を行うのに足りない人員については、事業ごとに中学生にボランティアをお願いしたり、区長会や地区推進委員にボランティアをお願いするなどの体制を整えています。

〇委員 文化・芸術・スポーツ推進事業

宅老所が閉所になったが、新たにお年寄りの方が活動できるような対策を考えていますか。

●稲津

宅老所は閉鎖になったが、丈夫な建物なので、市に稲津のまちづくりとして建物を使用できないかお願いしています。新たな組織を立ち上げお年寄りの方が活動できないか考えています。

＜市長コメント＞

稲津町は、音楽や演劇のプロ・郷土歴史家などの人材が豊富で、まちづくり事業の各方面で大活躍していることから、レベルの高い事業が多く、市外からも多くの方が事業に参加しています。また、組織を法人化して、多くの事業を町を挙げて行っているところも大きいと感じています。新型コロナウイルス感染症に負けないで、全ての事業をやり切ってほしいと思います。

土岐地区まちづくり推進協議会（以下「土岐」）

〇委員　青色回転灯防犯パトロール事業

小学生に啓発グッズを配布するとあるが、何を配布しますか。

●土岐

部会で詳細を検討していきますが、土岐地区まちづくり推進協議会のマスコットキャラクターの「あーたん・うーたん」を使った交通安全グッズを配布したいと考えています。

〇委員　青少年育成事業

通学路マップはどのように活用するのですか。

●土岐

通学路マップの作成は、土岐小学校からコミュニティスクールの一環として実施できないか、強く要望を受けています。土岐地区全域に配れるマップとして、地域の方と一緒に作成したいと考えています。過去にまちづくり事業で作成した「安心・安全マップ」を基に作成していきます。

〇委員

地域の方が子供たちの安全をしっかり確保できるよう危険箇所を見直すことにより、地域の方々が危険個所を共有でき、市役所などに危険箇所を改善してもらうための根拠になるようなマップになれば、なおいいと思います。

＜市長コメント＞

土岐町は、土岐川が町の真ん中を東から西にかけて流れていることから、防災意識が高く、災害対策を地域課題として取り上げているところを高く評価しています。また、歴史・史跡・文化の豊かな地域の特徴を生かしたまちづくりを行っていると感じています。土岐町の特性を踏まえ、今後もバージョンアップした事業を進めてほしいと思います。

瑞浪地区まちづくり推進協議会（以下「瑞浪」）

〇委員

まちづくり事業の裾野を広げるには、男女を問わず、いろいろな方が参画しやすい環境が必要だと思います。例えば、イベントの準備で、料理の準備は女性である必要はないと思うし、力仕事なら力がある方が行えばいいと思います。そういう視点で事業を行っていけば、まちづくり活動に未来が開けると思います。

〇委員

万尺川のほたるの育成については、「瑞浪はほたるのまち」だと堂々と言ってもいいぐらいの活動だと思っており、この事業に期待しています。

また、芋ほり大会では、大会を盛り上げるために掘った芋の大きさで順位をつけるなど工夫していて好感がもてます。

●瑞浪

芋掘り大会では、掘った芋と一緒に、まちづくりの別事業で収穫したもち米から作った「おこわ」を参加者に配っています。

〇委員

瑞浪地区に進出している企業が事業に参加し地域貢献をしていることが分かりました。

〇委員　潤いのあるまちづくり事業

絵手紙教室の参加者は、１回に３０人ぐらいで年６回となっているが、参加者は同じ方が６回参加することになりますか。

また、作品の展示会を実施していますか。

●瑞浪

例年、顔見知りの参加者が多くなるが、新たに参加する方もみえます。この事業は、祖父母と孫で参加してもらうような、世代を超えた繋がりをつくる事業にしていきたいと思います。

また、作品は文化祭で展示したり、夢サポセンターで展示しています。

〇委員　潤いのあるまちづくり事業

昨年度から、この事業で公園に植えた花を育てていますが、今年もきれいな花が咲いています。花を育てていると、地域の方が花壇に植える新しい花の苗を持ってきてくれるなど、地域の方との輪の広がるいい事業だと思います。

＜市長コメント＞

瑞浪市の市街地にある瑞浪地区で「ほたるの鑑賞」、「芋掘り大会」や「田植え」を行うことは、瑞浪小学校の子ども達には家の近くで経験することができないことなので、子どもたちの良い思い出になるし、それが地域の愛着にも繋がると思うので、いい事業だと思っています。

また、ウォーキング事業も参加者がすごく増えてきており、瑞浪地区の事業として定着してきていると感じています。

【５　事務連絡】

≪事務局より事務連絡など≫

【６　閉会】

≪まちづくり推進部長より閉会のことば≫

以上